

芹 沢 銑 介 美 術 工 芸 館

「型絵染人間国宝 芹沢銑介展」

一布に寄りそえば、色と文様がうたいたす。ー」

会期：2012年8月4日(土)～10月8日(月・祝) ※会期中無休

この度の「芹沢銑介展」は、静岡市立芹沢銑介美術館ならびに柏市が所蔵する着物・帯・屏風・のれん・染絵額のほか、本の装幀・型染カレンダー・うちわ絵・陶器・肉筆による板絵などの優品110点を紹介しています。

芹沢銑介(1895～1984)は、師・柳宗悦が主導した民芸運動にふれる中で、沖縄の伝統的な染色工芸「紅型(びんがた)」と出会い、型染による表現を追求していきました。昭和31(1956)年には「型絵染」という新しい分野で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され、昭和51(1976)年にはフランスからの強い働きかけによってパリのグランパレで個展が開催されるなど、国内外で高く評価される日本の代表的な染色工芸家です。作品は風景や人物、動植物、道具や文字に至るあらゆるモチーフから文様が創出されており、洗練された形態と色彩、斬新な構成が多くの人々を魅了し続けています。

本展では作品を年代順にし、「民芸との出会いー戦前の足跡」「洗練のデザイン世界ー重要無形文化財保持者へ」「自在の境地ー1966～1984」という三つのテーマで芹沢の奇跡を追っていきます。伸びやかで明るく、そしてどこか懐かしさをはらみながら上質な味わいを持つ芹沢銑介の芸術世界。他館の代表作品を味わうことの出来る貴重な展覧会です。この機会にぜひご覧ください。

●講演会「芹沢銑介の魅力」9月22日(土) 13:00～15:00

講師：白鳥誠一郎氏(静岡市立芹沢銑介美術館学芸員)

会場：当館5Fロビー



「晴雨二曲屏風」1962 静岡市立芹沢銑介美術館蔵

●ワークショップ「和紙製ブックカバーを染めよう」

会期中の火・土・日曜日 受付時間11:00～15:00(所要時間30～60分)

材料費:300円

●併設展示:「猪口と飯茶碗」「明治・大正のガラス器」(1F)

◇開館時間 10:00～16:30(入館は16:00まで)

◇入館料 本学学生は無料です。学生証を提示のうえ、入館して下さい。

ミュージアムショップ & カフェ

1Fミュージアムショップ 案内

本展覧会の期間限定販売物

*図録『芹沢銈介作品をめぐる30の物語』静岡市立芹沢銈介美術館刊

*図録『柏市立砂川美術工芸館所蔵品目録Ⅰ・Ⅱ』柏市郷土資料館(旧砂川美術工芸館刊)

*絵はがき各種(静岡市立芹沢銈介美術館&柏市)

*増田園のお茶(芹沢銈介デザインのパッケージ缶&袋)

この他にもさまざまなグッズや図録があります。

5F「カフェ可否館」9～10月の案内

※季節毎に種類が変わります

*今月のコーヒー ……

フィネットツォ・ルンゴ〔かすかな酸味と花の香りが特徴〕200円

*今月の紅茶 ……

ブラックカラント〔コクがありほんのり甘い味わい〕300円

* Studio Fahrenの手作りクッキー ……

〔様々な形、こだわりの材料で作ったおいしい焼き菓子〕一袋各250円

スクーリングや勉強の合間に、どうぞお気軽にご利用ください。

ホームページ <http://www.tfu.ac.jp/kogeikan/>